

ゆうらくせん  
遊楽船 9月号

施設長 福永政和

残暑お見舞い申し上げます。8月は地震、台風と自然災害に見舞われた月でした。家族会の皆様におかれましても被害やお怪我などなかったか案じているところです。

特に、8月8日の夕方に起きた日向灘を震源とする地震には驚きました。最大震度6弱を観測、ここつかわきも随分揺れました。幸いにして利用者の皆様に怪我はなく、建物の損壊もありませんでしたが、あのような大きな揺れの経験は初めてでしたので、あらためて地震の怖さを感じたところです。早速、8月10日には施設での地震訓練を実施し、あらためて避難の再確認を行ったところです。やはり備えが大切、あの揺れの経験に備えや避難の重要性を改めて認識させられた感じです。

気象庁も初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表するなど、その後しばらくの警戒感の高まりもあり、普段と違う不安なお盆だったのではないのでしょうか。

ところで、こんな不安などなかった7月29日から8月5日まで、1班、2班と分けて約半数の利用者の皆さんが今年もキャンプを実施し、私も寝食を共にしてきました。今年も宮崎県の栄松キャンプ場を利用。実はこのキャンプ、つかわきが開園した翌年（平成3年）から30年以上も続いている名物行事です。しかも、このキャンプ場で毎年続けてきています。利用者の皆さんの若かった頃は海へ飛び込み、職員とともに大はしゃぎしたものです。30年が過ぎ、年齢を重ねてもこうして元気にキャンプができることが、とても嬉しく幸せなことだと感じます。今年も職員が班のメンバー構成に合わせて様々なプログラムを組み、一緒に料理を作るなどして充実したキャンプとなりました。キャンプ生活では、やりたいことを自己決定する機会も多く存在します。釣りやボート、シュノーケリング、水鉄砲、花火、バーベキューなど、大自然の中で、まるで童心にかえったような笑顔を見ると幸せを感じます。長い方で30年も一緒にいますが、利用者の皆さんの若かった頃の思い出がいっぱい蘇ってきます。さざ波の音に目覚め、ゆったりとした時を思いのままに過ごし、星空を見ながら語り、静けさの中に寝静まる生活、多くの魅力をあふれもつこの行事が今年もできた夏、来年もまたこの地でできますようにと願うことでした。

ある学者が「私たちの限界を決めているのは肉体そのものではなく、むしろ頭の中身のほうだ」と言っています。この年齢だからキャンプはできないと頭で考えてしまうと衰えも早くなるが、年齢など気にせずキャンプを楽しみたい、好きなことしたいと楽しみを見つけてやっていく人は若々しさを保てるということです。やりたいことを自ら決定し、できることを楽しむことが、生き生きと生活する秘訣のようです。まだまだ暑い日が続きますが、これからもこうした自己決定の機会を作りながら、楽しい生活を創造していきたいと思います。





## なでしこ班外出

20日(火)、なでしこ班は垂水方面へ外出し、食事や買い物を楽しんできました。年齢や体力、支援状況を考えると班全員の外出には無理がありましたので、今回は男性のみの外出としました。やはり施設外の空気は格別らしく、皆さん久しぶりの外出・外食を嬉しそうにしていました。



## 陶芸班外出

21日(水)陶芸班の利用者さん4名は湧水町方面へ外出、散策や食事を楽しんできました。丸池湧水を散策竹中池そうめん流しでの食事を楽しんできました。



## たいよう班外出

22日(木)、たいよう班は阿久根市方面へドライブ。鶴川内にあるそうめん流し大野庵で食事を楽しんできました。精をつけて、これから始まるサツマイモの収穫を頑張りたと思います。



夏だ～海だ～キャンプだ～！！

7月29日から8月5日、2班に分かれて、キャンプを楽しみました。今年も宮崎県栄松キャンプ場です。できることはみんなで分担しながら協力し、バーベキューなどの料理を楽しみました。また、魚釣りやシュノーケリング、水鉄砲など、今年も大いにはしゃぎました。



### スイカ割り（なでしこ班）

8月30日（月）なでしこ班ではスイカ割りを楽しみました。たいよう班で育てられた大きなスイカ、安全にも配慮しながら、固い紙の棒でのスイカ割り。小さい頃の思い出があるのか、めいっぱい力を入れていました。みんなで美味しくいただきました。大きすぎて食べきれませんでしたので、他の班にもお裾分けしました。



### 自治会主催8月の誕生会



### Happy Birthday

8月24日（土）、8月生まれの利用者さんの誕生日を皆さんでお祝いしました。花木啓一さん、漆間久美子さん、福元大輔さん、阪井 勉さんの4人です。お一人お一人に会長さんからプレゼントを手渡され、ご機嫌でした。益々、お元気で。

お世話になりました。

8月31日をもって職員の濱田美咲が退職となりました。つかわきで約6年と半年の勤務でした。その間、結婚と二人の子どもさんを出産、育児との両立を頑張りながら、利用者のために尽くしてくれました。飛び抜けた明るい性格と笑顔はいつも利用者の心を和ませてくれました。利用者の皆さんとのお別れ会を行い、心温まるスピーチや歌、花束でエールが贈られていました。家族会の皆様方にも大変お世話になり有り難うございました。新たなステージでの活躍を祈りたいと思います。

